



東芝未来科学館

(約1.8km)

近未来の社会・生活シーンを
体験しながら
家族みんなで「科学」に触れる

川崎駅周辺には、ご家族で楽しく学べるスポットも盛りだくさん。

その1つが、身体を動かしたり体験しながら

最先端の科学技術に触れられる「東芝未来科学館」です。

館長の福家浩之さんより、同館ならではのおすすめのポイントや川崎の街の魅力についてご紹介いただきました。



東芝未来科学館 館長 福家浩之さん

Q どのような施設でしょうか？

当館は1961(昭和36)年に幸区小向東芝町に開館した「東芝科学館」を前身としています。企業ミュージアムとして東芝グループの最先端技術をアピールすることはもちろんですが、「科学技術のすごさ・面白さを伝える」ことによりウェイトを置き、ご来館いただいた皆様の好奇心をかきたてるような展示やプログラムをご用意しています。難しい技術もやさしくかみ砕いて説明したり、直感的に理解していただけるように工夫しています。ぜひご来館いただき、科学の面白さに触れていただきたいですね。



「フューチャーゾーン」では、科学技術が支える近未来の暮らしを体感できます

Q 施設の運営にあたって、心掛けられていることは？

来館者ご自身が簡単な操作で装置を動かしたり、ゲーム感覚で競い合いながら学べる体験型の展示を多数そろえています。身体を使って経験したことは、それだけ記憶に長く留まるからです。ご家族やお友達と楽しみながら、豊かな社会を裏から支える科学の基本に気づいていただけるようご案内しています。また、ともしればお子様向けの内容だと思われがちですが、大人にとっても新たな学びや発見があるはず。さまざまな年代の方々にご満足いただけるように心掛けながら、展示やイベントを通じて発信しています。



館内にはアテンダントが常駐。展示内容や体験方法など、親切にわかりやすく教えてもらえます



▲装置に触れて50万ボルトの静電気を安全に体験

◀半導体内部の1/100万ミリの世界を体験できる「ナノライダー」

Q 川崎の街の魅力を教えてください。

かつて工場の街だった川崎は、今日では企業や学術機関の研究開発拠点が集まる、最先端技術の街に生まれ変わりました。いわば“モノづくりのDNA”が受け継がれている街です。時代が変わっても、社会を豊かにする“モノづくり”の重要性は変わりません。この街には、お子様はもちろん、幅広い世代の方々の知的好奇心を刺激する「学びのチャンス」があふれています。川崎に住まわれる利点の1つとして、「科学」をより身近な存在として感じ、親しまれてみてはいかがでしょうか。



来場案内

東芝未来科学館

- 住 所 川崎市幸区堀川町72-34スマートコミュニティセンター(ラゾーナ川崎東芝ビル)2F
- T E L 044-549-2200 ● FAX 044-520-1500
- U R L <https://toshiba-mirai-kagakukan.jp/>
- 駐車場 なし(公共交通機関をご利用ください)
- 開館日・時間 火～土曜 9:30-17:00 ● 休館日 日曜・月曜・祝日・特定休館日
- 入館料 無料(事前予約制)

